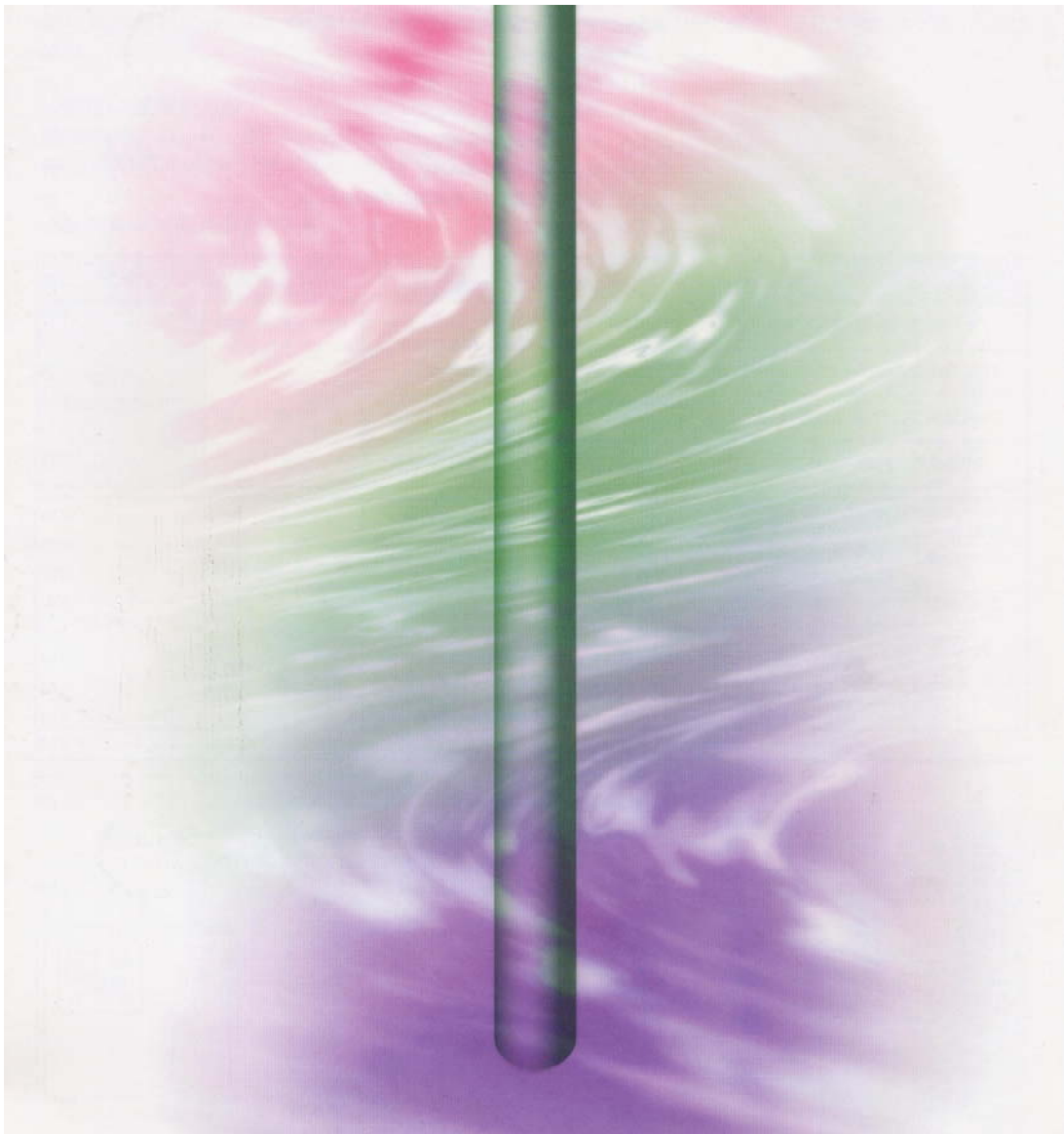


# セ ン サ ー

2019年 1月号 第51号

東京温度検出端工業会 会報



# 年頭雑感

2019年1月

会 長 林 正 樹

皆様、明けましておめでとうございます。本年も工業会の活動に奮ってご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

昨年は災害の多い年でした。西日本豪雨、北海道地震、数多くの台風の襲来等があり、多くの方が被害を受けられました。米国でもカリフォルニアで大規模な山火事がありました。西日本豪雨は雨の降り方が明らかに従来と異なり、地球の気象変動の影響と思われます。被害を受けられた方々にはお見舞いを申し上げますと共に、今年は穏やかな年になって欲しいものです。

年末になって日産のカルロス・ゴーン会長が東京地検に逮捕・拘留されるという事件が発生、毎日の新聞紙上を賑わせています。逮捕の理由は有価証券報告書の虚偽記載や会社資金の私的流用のようですが、実際のところはよくわかりません。法律の専門家の間でも意見が分かれているようです。これらのことがゴーン会長一人で行える筈もなく、取締役会も承知していたと思われます。司法取引で他の取締役は刑事訴追を免れているようですが、そうではあっても取締役としての株主に対する責任まで免れる訳にはいかないと思われませんが、どうでしょうか。そもそも今回の件はもっと早く社内で処理されるべきことを司直の手に委ねた時点で、会社のガバナンスが働いていないことを表しています。また否認し続けると長期間拘留され、家族とも接見できない日本の刑事司法制度も海外では問題視されているようです。

日産といえば若い方はご存じないでしょうが、1960年代から70年代にかけて労働組合のトップが絶大な権力を握って、人事や海外展開の方針にまで介入するということがありました。最後は女性スキャンダルで失脚しましたが、日産はこの内部のゴタゴタでパワーを浪費して、それまで激しいシェア争いをしてきたトヨタとの間に、挽回不可能な程の差がついたと言われています。

そうして前回の経営危機の際に外部（ルノー）の力を借りざるをえないことになり、その結果、1999年に派遣されて来たのがゴーン氏だった訳です。あの際には1人の強力なリーダーシップが必要だったのでしょうが、権力の集中が長く続くといろいろと問題がおきてくる見本のようなようです。今後の裁判の行方及び日産、ルノー、三菱の連携がどのようになっていくのか、注目したいと思います。

話は変わりますが今年は9～10月に日本国内でラグビーのワールドカップが開催されます。前回大会のときには日本は南アフリカを破って世界を驚かせましたが、今回はそのようなサプライズは起きるのでしょうか。日本（世界ランク11位）は予選A組でアイルランド（2位）、スコットランド（7位）、サモア（16位）、ロシア（19位）と同組で、上位2チームが決勝トーナメントに進出ですので、サモア、ロシアに勝ってもアイルランド、スコットランドのどちらかに勝たなければ、恐らく決勝トーナメントには進出できません。前は南アに勝った後、スコットランドに

完敗して決勝トーナメントに進出できませんでした。今回は何とかして決勝トーナメントに進出して欲しいものです。

また6～7月にはフランスで女子サッカーの世界カップが開催され、日本（世界ランク8位）はD組でイングランド（4位）、スコットランド（20位）、アルゼンチン（36位）と予選を戦うことになっています。前は準決勝でイングランドを破って決勝に進みましたが、決勝ではアメリカに2-5の完敗でしたので、今回はそのリベンジを果たして欲しいものです。熊谷、鮫島、宇津木らのベテランに混じって、岩淵、横山、長谷川らの若い選手がどこまでやれるかが鍵でしょう。今から楽しみです。

今年は年初から為替や株が乱高下して波乱の幕開けで、予測の難しい年となりそうですが、当工業会の会員のお会社におかれましては益々のご発展を祈念して筆を措きます。

## 会員紹介

### 株式会社日本熱電機製作所

一昨年5月に創業80年 / 設立60年を迎えております。

当初は理化学機器及び一般形熱電対の製作を手掛けておりましたが、1984年、後発組ではありましたがシーース熱電対の製作を開始致しました。

現在、極細シーース熱電対とそれらの応用製品、2000℃超高温域用熱電対、また真空設備用熱電対と特異な技術で新製品の開発、製造を進めております。

これらの技術が認められ、去る2006年、弊社製造部極細グループのメンバーが当業界初の"東京マイスター"を受賞させていただきました。

私共、これからも特徴のある温度センサに取り組み、皆様のお役に立てるよう日々努力してまいります。

代表取締役 童子 俊一

〒114-0011 東京都北区昭和町2-6-5

TEL : 03-3893-5421

FAX : 03-3810-3818

<http://www.nndalloy.co.jp/>

### 日本ハネウエル株式会社

ハネウエルはNY証券取引所に上場している多国籍企業で、全世界に1300の拠点があり13万人の従業員がおります。一般消費者はハネウエルの存在には気づきませんが、間接的に使用していますので一部を紹介させていただきます。

ガソリンを主とする石油精製には36個のプロセスがあり、そのうち31個を子会社のUOPが開発致しました。

家庭用エアコンの省エネ冷媒ガスを20年前から販売し、現在は地球温暖化を回避するため新型

の冷媒ガスを開発し切替を推進しております。

また、航空機の自動運転装置や、空港に着陸する際の誘導システム、ジェットエンジン、機内WiFiシステムを提供しております。

全世界で1億5千万の家庭と1千万のビルで、ハネウェルの温度調節やセキュリティシステムが稼働しております。

物流に不可欠な、バーコード・スキャナーやモバイルコンピュータ、自動倉庫システム、ヘルメットや安全靴なども提供させていただいております。

半導体材料や電子材料も供給しており、それらはパソコンや携帯電話などの心臓部であるCPUやAPやメモリーの製造に使用されています。

検出端工業会には矢板工場が半導体ICチップ製造向けに温度センサーを製造しているので参加させて頂いております。

エレクトロニク・マテリアルズ事業部

取締役 営業部長 後藤 浩之

〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1

TEL : 03-6730-7090

FAX : 03-6730-7222

<https://www.honeywell.com/worldwide/ja-jp>

## 株式会社 ネットシン

弊社は1971年8月の創立以来、『限りなく点に近づける!』をテーマに、48年間に渡り温度センサーの中でも最も信頼性の高い白金温度センサ（白金測温抵抗体）の開発・製造・販売を行ってきました。

今日まで国内をはじめ世界市場で当社の製品をご愛用頂いております。

産業界における科学技術の進歩は目覚ましく発展し続けています。温度センサそのもの一つを取っても、精度とスピードが求められる時代へと変化し、用途拡大してきている事を実感しています。

弊社は常に技術の研鑽に努め、新技術、新製品の研究開発に力を注ぎ、温度計測の信頼性を更に高め、各産業界に適合した特徴のある温度センサ並びに応用製品の供給を行ってまいります。

ハイテクノロジーセンサのネットシンは、『産業界における縁の下の力持ち』として今後もお客様のニーズに的確にお応えできるよう努めて参ります。

代表取締役社長 今村 友亮

〒354-0045 埼玉県入間郡三芳町上富 2079-7

TEL : 049-259-0101

FAX ; 049-258-2424

<https://netsushin.co.jp/>

## 新入会員紹介

理事会で承認され、以下の会社が新会員として入会されました。

社名：エンドレスハウザージャパン株式会社  
住所：府中市日新町5-70-3  
TEL:042-314-1911  
代表者名：齋藤雄二郎

社名：プロセス機器株式会社  
住所：港区大門2-1-15 羽織屋ビル3F  
TEL:03-3437-1471  
代表者名：松井國昭

社名：株式会社富士精工  
住所：埼玉県ふじみの市鶴ヶ舞3-4-5  
TEL:049-262-5777  
代表者名：下司英人

## 会の動き

- ◎平成30年2月2日 新春講演会 … 参加者28名（16社・団体）  
会場：貸会議室プラザ八重洲北口  
内容：温度計測こぼれ話  
講師：小川実吉氏
- ◎平成30年2月2日 新春懇親会 … 参加者31名（16社・団体）  
会場：日本橋老舗屋
- ◎平成30年6月22日 第44期定時総会及び懇親会 … 参加者20名（14社・団体）  
会場：巢鴨 割烹山崎  
議題①第44期事業報告及び収支決算報告  
②第45期事業計画案及び収支予算案審議
- ◎平成30年10月26日 第64回技術懇談会 … 参加者25名（13社・団体）  
会場：東京都立産業技術研究センター本部  
第1部見学会「ロボット開発セクター及びIoT開発セクター」  
第2部業種別交流会「業界支援と今後の取組みに向けて」

- ◎平成 30 年 11 月 15 日 温度計の実務講座（第一回）… 参加者 37 名（14 社・団体）  
会場：大田区産業プラザ  
内容①：卑金属熱電対と補償導線及び保護管  
講師：風岡学氏（㈱岡崎製作所）  
内容②：測温抵抗体  
講師：池上宏一氏（林電工㈱）
- ◎平成 30 年 11 月 29 日 温度計の実務講座（第二回）… 参加者 40 名（15 社・団体）  
会場：大田区産業プラザ  
内容①：貴金属熱電対と標準熱電対  
講師：浜田登喜夫氏（田中貴金属工業㈱）  
内容②：トレーサビリティと校正  
講師：斉藤尚子氏（日本電気計器検定所）
- ◎平成 30 年 12 月 12 日 一日見学会 … 参加者 24 名（10 社・団体）  
見学先：①オリックス・レンテック  
②麒麟ビール横浜工場

## 一日見学会報告

林電工株式会社 安藤 徹

東京温度検出端工業会の一見見学会が、2018 年 12 月 12 日に開催されました。

午前中にオリックス・レンテック株式会社の東京技術センター（町田）、午後に麒麟ビール株式会社の横浜工場（生麦）に伺いました。

オリックス・レンテック様ですが、1976 年に日本初の測定器レンタル会社として起業し、欲しい時に安価で高品質な機器を使える事で成長し、現在では計測器、分析機器、PC 等約 150 万台の製品を保有しています。自社製の校正情報データベースアプリの開発をするなど、製品の台数だけでなく品質管理にも取り組んでいます。また、あらゆる計測器の国家・国際標準へのトレーサビリティを確立する為、照合標準器、一次、二次標準器の資産を約 40 億円分も所持しています。標準室においては室温を均一にする為、ダウンフロー方式の空調を用い温度を  $20^{\circ}\text{C} \pm 1^{\circ}\text{C}$  に保ち、入退出の際に外気が入らない様、室内を高圧にするといった工夫もしていました。

約 70 億円をかけて国内最大級の自動倉庫システムを導入し、各機器に番号を振り分ける事で番号入力後 20 秒以内に手元に届くことになっています。欲しい時に欲しいものという会社の理念が現場レベルでも徹底されており、省人化省力化が図られていました。1987 年の導入当時、売上が約 100 億円の時代に、この投資を行った先見性には脱帽しました。

2017 年に開設した、ヒト協調ロボットを中心とした Tokyo Robot Lab.、自動搬送ロボットの展示がある Tokyo Robot Lab.2 も案内して頂きました。今までは産業用ロボットを使用する際は、作業者と分離する為の柵が必要でしたが、ここに展示されている物は安全対策（触れると動作が止まる、柔らかい素材の使用、指を挟みにくい等）が施されており、人と共に作業が出来る仕様となっています。約 4kg の小型のものや、プログラミングが簡易で制御のしやすいものなど様々な特徴があるロボが多く展示してありました。自動搬送ロボットは、あらかじめ決められたルートを通

る、もしくはフロアマップを作成し、障害物などを把握し、走行ルートを自分で考えるという 2 種類がありました。前を歩く人に追従する機能がある製品もあり、生産現場で様々な場面で活躍出来ると思われます。

社会のトレンドが年々速さを増し、所持することがリスクや経費の面でデメリットであると判断され得る為、高品質な製品を必要な時だけ使えるというニーズは今後さらに高まってくると思います。

午後はキリンビールの横浜工場にて、数あるキリンの銘柄の中でも有名な「一番搾り」のうまさの秘密体感ツアーに参加しました。横浜という地は、日本で初めてビールが醸造された場所であり、キリンビールはその歴史を汲む、ビール業界のパイオニア的存在です。まずは素材である麦芽とホップを直に触るところから始まります。初めて麦芽を食べてみましたが、甘みがありおつまみにもなりそうな印象でした。その麦芽を砕いて「もろみ」という麦のおかゆをつくり、もろみをろ過し麦の殻を取り除いたものが「一番搾り麦汁」になります。通常のビールは、その後にお湯を足してろ過した二番麦汁をブレンドして作られますが、キリンは一番搾りにだけこだわり、ビールを作ります。麦汁の飲み比べをしましたが、一番搾りは二番絞りに比べ、甘み、香りの点で圧倒的に美味しいものでした。麦汁にホップを加え、ビール独特の香りとお苦みをつけ、酵母を加えて発酵させ、1～2ヶ月程貯蔵する事でビールとなります。実際のタンクは約 20m あり、350ml 缶を 148 万本入るほど巨大で、横浜工場には大小合わせて 130 本ほどあります。最後に製缶等のパッケージングが行われます。今回の工場見学では、唯一このラインで温度センサーを何個か発見する事が出来ました。



(写真 1) 左が一番搾り、右が二番絞り麦汁



(写真 2) ラインに設置された温度センサー

巨大な糖化槽にプロジェクションマッピングを投影説明するなど、来場者を飽きさせない工夫が随所に仕込まれており、子供も大人も楽しめる内容となっていました。見学の最後には一番搾り、一番搾り<黒生>、贈答用の一番搾りプレミアムの 3 種類を試飲する事が出来ました。この工場見学で、お客様により美味しいものを届けたいという、ビール醸造へのこだわりの強さを感じる事が出来ました。

末筆になりますが、今回このような機会を与えて頂きました、事務局そして関係者、見学先の皆様方に、この場をお借りして心より御礼申し上げます。



オリックス・レンテック



麒麟ビール



## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いたします。

30年余り続いた平成があと約3か月で幕を閉じます。この間は日本が直接参加した戦争こそありませんでしたが、大きな自然災害が多く、またバブル崩壊やリーマンショックなどもあり、景気はあまり良くなかった印象があります。

新しい時代は穏やかで、景気が少しでも上向いてくれれば良いと思います。

本年が皆様にとってより良い年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。



平成31年1月発行 No.51

発行所 東京温度検出端工業会

事務局

〒113-0021 東京都文京区本駒込6-5-5

林電工 株式会社 内

電話 03-3945-3151

FAX 03-3945-3130